



元気いっぱい、笑顔いっぱい、社会に出ることを心待ちにした児童がそろう学校

朝霞第二小だより



【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

〒351-0007 朝霞市岡3丁目16番13号 TEL048-461-0042 FAX048-467-47
令和4年 8月29日(8・9月号) 児童数 704名(8/26現在)

感謝の気持ちを伝える

校長 宮腰 高子

今日から2学期が始まりました。今年も感染症対策を鑑みながらの夏休みとなり「本当だったら…」などと思うところもあったことと思いますが、目先を変えた楽しみ方で、子供たちの笑顔や家族との素敵な時間を過ごすことができたのではないかと思います。

さて、この夏休みにも全国高等学校野球選手権大会(甲子園)がありました。一回毎の試合にドラマがあり、私も、ちょっとだけのつもりでいたのに、いつの間にか夢中になって視聴している事は一度だけではありませんでした。今回の優勝は宮城代表の仙台育英高校。東北勢として悲願の初優勝を果たす事ができたそうです。福島県と栃木県の境にある「白河の関」を越え、優勝旗を初めて東北に持ち込む事ができたとの事で、東北全体が喜びに満ちていました。中でも、地元に戻るときの様子を自らSNSでアップした事がニュースとなっていました。白河の関を越える時の動画でしたが、選手の皆さんが優勝メダルや白河の関の通行手形等を手にしながら感謝のメッセージを送ったことは、応援する地域の皆さんに伝わっていると感じました。新幹線で白河の関をあっという間に通過してしまったけれど、簡単な思いで通過したのではないことがしっかりと伝わりました。SNSという新しいツールがそれを伝えたのです。

今コロナ禍で面と向かって話したり共に行動したりすることが難しい時期です。しかし、方法を工夫すれば思いは伝わります。

私たちは学校や社会において多くの人と関わり、互いに支え合って生きています。その中で、人に何かをしてもらったり、助けてもらったりしたときには、感謝の気持ちをしっかりと相手に伝えることで、さらにお互いの関係は豊かなものになります。気持ちの伝え方には、様々な方法がありますが、感謝の気持ちを表現する言葉として、最もよく使われるのは、「ありがとう」という言葉でしょう。「ありがとう」という言葉は、言う側も受け取る側も明るい気持ちになります。ですから、いつでも、どこでも、誰に対しても、「ありがとう」と言えるようにしたいものです。いつも一緒にいる家族や友達にもあらためて「ありがとう」と伝えることで、普段の感謝の気持ちを伝えることができるでしょう。いよいよ2学期が始まります。子供たちの学習や活動がより一層充実するように、教職員一同力を合わせてまいります。また、日常の教育活動において、互いに感謝の気持ちを表す「ありがとう」の言葉が溢れる学校にしていきたいと考えます。保護者・地域の皆様のご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

沢山の皆様に支えられ~ありがとうございます!!~

学校応援団の皆さんに「ちゃれんじスタディ」を開催していただきました。前半は6年生有志もお手伝いに来てくれました。また、学校農園の除草などの手入れもしていただきました。

彩夏祭では「輝け!150周年朝霞二小鳴子隊」が練習の成果を発揮しました。沢山の方に応援に来ていただいた中での演舞は大変に盛り上がりしました。



【鳴子隊の演舞】